





1年次	2年次	3年次	4年次
<p><b>基礎固めと方法論の修得。</b></p> <p>幅広い視点で人々と生活について理解する基礎・教養科目、看護専門職としての倫理観や看護の基礎知識・技術を学び、「健康とは何か」「看護とは何か」を学修。「基礎看護学実習Ⅰ」で病院を見学し、医療現場への理解を深めます。</p> 	<p><b>看護の専門性を磨く。</b></p> <p>内科・外科・小児科・周産期における病理病態についての専門基礎科目と、点滴や吸引・吸入、導尿などの看護技術を学びます。成人・小児・老年・精神など各看護領域の専門実践科目の学修や、医療機関へ2週間の実習も行います。</p> 	<p><b>臨地実習がスタート。</b></p> <p>専門実践科目と臨地実習が多くなります。とくに臨地実習は、1期で学んだ各専門領域別の援助理論を臨地で実践するもので、約半年間かけて複数の医療機関で実施。看護教諭免許取得をめざす人は関連科目の履修も行います。</p> 	<p><b>国家試験に取り組む。</b></p> <p>模擬試験や国家試験対策の講習・補習授業などを経て、看護師・保健師の国家試験に臨みます。看護教諭を志す学生は教育実習を経て、教員採用試験合格をめざします。</p> 

	I期	II期	I期	II期	I期	II期	I期	II期
全学共通／基礎・教養科目	<p>【基礎科目】 ●日本語(読解と表現) ●英語 ●コンピュータ演習 ●生物基礎 ●化学基礎</p> <p>【教養科目】 ●宗教と人生 ○生命倫理学 ○哲学 ○文学 ○芸術 ○心理学 ○法と社会 ○仏教と現代社会 ○国際理解と宗教I(キリスト教) ○国際理解と宗教II(イスラム教) ○政治学 ○色彩とデザイン ○法と社会 ○日本国憲法 ○人権の歴史 ○政治学 ○社会学 ○経済学 ○化学 ○生物学 ○食と健康 ○実用英語(初級) ○実用英語(中級) ○中国語(初級) ○中国語(中級) ○韓国語(初級) ○韓国語(中級)</p> <p>○健康・スポーツ科学I(講義) 教員免許取得希望者は ○健康・スポーツ科学II(演習) 左記3科目の中から ○健康・スポーツ科学III(演習) 1科目選択必修 ○私のためのキャリア設計</p>							
専門基礎科目	I群 (健康支援と社会保障制度)	○社会福祉論 ○精神保健 ○家族関係論	●●保健統計学 ○人間関係論 (カウンセリングを含む)	●●保健医療福祉行政論 ●●公衆衛生学 (校学含)	○環境保健学			
	II群 (人体の構造と機能)	○基礎生物学 ●●形態機能論I	●●形態機能論II ○生化学 ●●栄養学 (食品学を含む)	●●免疫・微生物学				
	III群 (疾病の成立及び回復の促進)		●臨床病理病態学I(内科系) ●臨床病理病態学IV(周産期・小児科系)	●臨床病理病態学II(内科系) ●臨床病理病態学III(外科系)				
専門実践科目	IV群 (基礎看護学)	●●看護学概論 ●●看護技術論I (生活技術援助)	●●看護技術論II (診療技術援助)	●●看護技術論III (看護過程) ●●基礎看護学実習II	●看護管理学			●看護教育学 ●看護倫理
	V群 (成人・老年看護学)		●●老年看護学概論 ●●成人看護学概論		●●成人看護援助論I(生命危機状態にある人) ●●成人看護援助論II(常態の維持・増進が困難な人) ●●老年看護援助論 ●●母性看護援助論 ●●小児看護援助論	●●成人看護学実習I ●●成人看護学実習II ●●老年看護学実習I ●●老年看護学実習II		
	VI群 (母性・小児看護学)		●●母性看護学概論	●●小児看護学概論		●●母性看護学実習 ●●小児看護学実習		
	VII群 (精神・在宅・地域看護学)			●●精神看護学概論 ●●在宅看護概論 ●●公衆衛生看護学概論 ●●学校保健概論	●●精神看護援助論 ●●在宅看護援助論 ●●健康教育論 ●●国際看護学	●●精神看護学実習	●●在宅看護実習 ●●災害看護学(災害保健を含む)	
統合科目	VIII群 (看護の統合と実践)	●基礎ゼミ			●看護研究I(基礎編) ●リスクマネジメント論	●看護の統合と実践実習	●看護研究II(応用編)	
関連科目	IX群 (保健師関連)				○疫学 ○健康相談活動の理論と実践 ○公衆衛生看護学活動展開論 ○産業保健論	○公衆衛生看護学実習I	○公衆衛生看護学実習II	○公衆衛生看護学特論
	X群 (看護教諭関連)			○●養護概説	○●学校保健活動論	○●学校保健演習		
教職に関する科目	○教職概論 ○教育原理	○教育制度論 ○教育相談(カウンセリングを含む)	○生徒指導論	○教育心理学 ○教育課程論(道徳・特別活動を含む) ○教育方法・技術論			○養護実習(事前事後指導を含む)	○教職実践演習(養護教諭)

●卒業必修科目 ○選択科目 ◎教員免許必修科目 ※教職に関する科目は卒業要単位には含まれません。 ※カリキュラムについては、変更する場合があります。

充実した  
授業・実習

地域での豊富な実習で、実践力を身につけます。

1年次から病院などの医療機関での実習がはじまります。成人、小児、高齢者、精神などさまざまな分野の看護経験を積むことで、看護師としてのスキルを磨き、めざす将来像を固めていきます。



1年次

看護技術論Ⅰ

医療施設に入院している患者さまの病態や意思をしっかり把握するためのコミュニケーション力を身につけるとともに、日常生活を援助する方法を、見学実習を通じて学びます。

実習時期 8月下旬～(期間1週間)

2年次

看護技術論Ⅱ

1年次の実習を踏まえ、人間や健康を総合的にとらえる能力を養います。さまざまな患者さまに対応できる、科学的な根拠に基づいた適切な看護計画を実践する能力を身につけます。

実習時期 2月下旬～ 3月下旬(期間2週間)



3年次

小児看護学実習

小児各期の特徴を理解し、その成長や発達段階にふさわしい看護の知識や技術を学びます。小児病棟と幼稚園で実習を行い、子どもとの望ましい関わり方や適切な援助のスキルを身につけます。

その他の実習 成人看護学実習Ⅰ・成人看護学実習Ⅱ・老年看護学実習Ⅰ・老年看護学実習Ⅱ・母性看護学実習・精神看護学実習・看護の統合と実践実習・公衆衛生看護学実習Ⅰ

実習時期 9月～2月(各実習期間2～3週間) 科目により期間は異なります。

4年次

公衆衛生看護学実習Ⅱ

保健・医療・福祉の協働活動や、地域での健康支援といった保健師の業務について学びます。広く健康課題を認識し、改善案を根拠に基づいて計画・立案できる保健師としての実力を、実践を通して身につけます。

その他の実習 養護実習・在宅看護実習

実習時期 5月～7月(各実習期間2～3週間)